

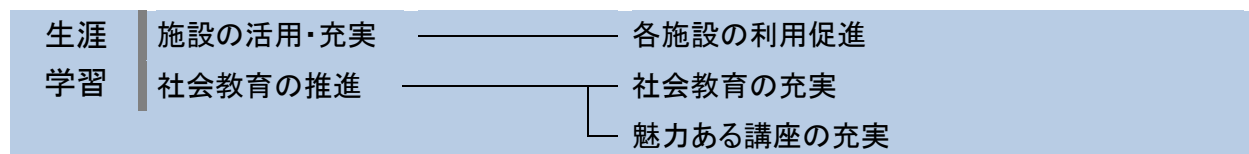
第4節 生涯学習



現況と課題

- ◆ 公共施設として日々多くの市民が利用する市立図書館では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、図書館利用における感染予防対策の実施が必要となっています。そのため、館内の消毒作業による入替え制の実施や返却図書への消毒作業、3密を回避するために学習席や閲覧席の数を減らすなど、市民が安心して図書館を利用できるよう、感染リスク軽減に向けた措置を続けていきます。また、感染予防の観点から、おはなし会やこども会といった対面型や集客型の事業の実施が難しいことから、オンラインを活用した事業の実施やYouTubeチャンネルでのイベント動画の配信、InstagramやTwitterなどのSNS^{*1}を活用した情報発信など、新たな事業展開を進めることで、コロナ禍にあっても図書館の利用促進を図ります。
- ◆ 市民会館では、各種講座やイベントなどが数多く開催され、広く市民の生涯学習の場として大きな役割を担っています。指定管理者による施設の管理運営を行っており、経費の削減に繋がっていますが、さらなる集客による稼働率の向上が課題となっています。
- ◆ 様々な場で市民の社会教育、生涯学習に関する情報収集を行い、時代変化に対応した社会教育事業の体系づくりを進める必要があります。
- ◆ 富士の里市民大学は、すべての市民が生涯学習に対する市民の多種多様な要望に応えるため、様々な学習の情報や安全な学びの場を提供し、子どもから高齢者まであらゆる世代に対応した各種教室、講演会等を開催しています。メールやQRコードを活用した受講申込みを可能にすることにより、申込み手続きの負担を軽減し受講率の向上を図っています。
- ◆ 生涯学習教養講座については、多様化する市民ニーズに応え、時代変化に即した講座とするため、常に受講者の声を把握し、講座内容を検討し、開催していく必要があります。

施策の体系



*1) SNS:ソーシャルネットワーキングサービス。人と人との社会的な繋がりを維持・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービス。

施 策

(1) 施設の活用・充実

①各施設の利用促進

市立図書館では、利用者が安心して施設を利用していただけるよう、新型コロナウイルスの感染症対策を続けながら、学習や社会活動に意欲的なシニア層をはじめ幅広い年齢のニーズを把握し、新たな掘り起こしを行い、図書館から積極的にサービスを届けられるよう、SNSによるデジタル媒体の活用など様々な手段により、計画的な情報発信を継続して、利便性の向上と利用増進を図ります。また、図書館運営上重要となる司書の有資格者の確保に努めます。

(2) 社会教育の推進

①社会教育の充実

わかりやすい生涯学習関連情報の発信充実に努めます。また、引き続き、地域における「学び」の情報にも注目し、社会教育委員や関係団体等の指導・助言を得ながら、刻々と変化する時代に適応した社会教育の充実に努めます。

②魅力ある講座の充実

富士の里市民大学をはじめ、家庭教育学級、富士山ジュニアカレッジ、寿教室、中央社会学級を開催しています。また、富士山自遊大学事業は市民会館の指定管理者の（一財）富士吉田文化振興協会が事務局として開催しています。介護や子育て、ボランティアに関連した講座の開催、参加者の学習ニーズを十分に考慮し、多種多様な講座を展開し、参加者の拡充や受講率の向上に努めます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休会している地区社会学級や成人学級については、社会教育委員や関係団体の指導・助言を得るなかで、感染防止に留意しながら再開に向けて働きかけていきます。

●富士山ジュニアカレッジ



●富士の里市民大学

